

第17回 全国農林水産物直売サミット 開催案内

テーマ「地域を支え、地域経済も動かす直売所」



日程 平成**30**年**11**月**1**日(木)~**2**日(金)

会場 ●全体会 和歌山県民文化会館・小ホール (和歌山市小松原通一丁目1番地)
●交流会 ホテルアバローム紀の国・鳳凰の間
●現地視察 和歌山県内農林水産物直売所(全4コース)
●宿泊先 ①ホテルアバローム紀の国 ②スマイルホテル和歌山 ③コンフォートホテル和歌山

開催趣旨

全国各地の農林水産物直売活動の情報交換を行い、運営の課題解決や情報発信を進めるとともに、直売所間のネットワーク化を図るために開催している全国農林水産物直売サミット。

第17回目となる本年度は、みかん・梅・柿の収穫量日本一「果樹王国」の和歌山県下で開催します。

和歌山県内の直売所は、JA、民間企業、地域組織がそれぞれの特色を発揮して運営し、直売所を核に地域に新たな需要を生み出し、市民生活にも欠かせない店となっています。

今サミットは、「**地域を支え、地域経済も動かす直売所**」をテーマに、地域活性化の拠点としても期待されている直売所が果たすべき役割や使命を再確認し、直売活動の持続的な展開に役立てることを目的に開催します。

■全行程参加費 **17,000** 円 (参加費 **4,000** 円、交流会費 **6,000** 円、現地視察費 **7,000** 円)

■主催 全国農産物直売ネットワーク
一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう)

■後援 和歌山県 和歌山市 農林水産省 JA全中 JA和歌山中央会
(一社) 全国農業改良普及支援協会 (一社) 和歌山県農業会議 全国直売所研究会
(一社) 農山漁村文化協会 (一社) 全国農協観光協会

プログラム

(敬称略)

平成30年11月1日(木)

全体会・分科会

12:00 開場・受付(和歌山県民文化会館「小ホール」)

13:00 開会

主催者挨拶(一財)都市農山漁村交流活性化機構 専務理事	山野 昭二
開催地挨拶 和歌山県知事	仁坂 吉伸
和歌山市長	尾花 正啓
農林水産省 近畿農政局長	神山 修

13:30 話題提供「和歌山県内の直売所の動向と今後の展望」
和歌山大学 食農総合研究所 特任教授 辻 和良

13:50 活動紹介①「地域農業を支える、めっけもん広場」
JA紀の里 ファーマーズマーケットめっけもん広場 店長 山田 秀樹

(休憩)

14:30 活動紹介②「農業所得向上に貢献する農産物直売所の多店舗経営」
(株)プラス 取締役会長(産直市場よって) 野田 忠

15:00 活動紹介③「地域に新たな需要を創る。秋津野コミュニティビジネス」
(株)秋津野 副社長 (株)きてら 副社長 木村 則夫

(分科会会場へ移動)

15:45 分科会(80分)

～テーマ別の分科会です。冒頭に講師から話題提供を頂き、参加者で意見交換を進めます。
参加申込書に第2希望まで記載して下さい～

第①分科会「中・大規模直売所の進むべき方向」

講師:(一社)みなかみ町農業公社 参与 西坂 文秀(群馬県みなかみ町)

第②分科会「地域農業を支える、中山間地直売所の役割」

講師:産直めぐり 店長 叶野 由佳(山形県鶴岡市)

第③分科会「直売所出荷に向けた多品目栽培と商品づくり」

講師:JAしまね 販売戦略室 室長 須山 一(島根県出雲市)

第④分科会「直売所間商品交流の進め方」

講師:おおむら夢ファームシュシュ 代表 山口 成美(長崎県大村市)

第⑤分科会 「直売所から地元給食に食材を納める」

講師: あんずの里市利用組合 事務長 花田 砂恵子 (福岡県福津市)

第⑥分科会 特別講座「農産物直売所は6次産業化のトップランナー」※講義形式になります

講師: 全国農産物直売ネットワーク代表(東京大学名誉教授) 今村 奈良臣

(全体会・小ホールへ移動)

17:00 全体会「直売所をめぐる今の課題と今後の対応」

(パネリスト)

(一社)みなかみ町農業公社 参与(群馬県みなかみ町) 西坂 文秀

産直めぐり 店長(山形県鶴岡市) 叶野 由佳

J A 紀の里「めっけもん広場」店長(紀の川市) 山田 秀樹

(コーディネーター)

進行役 (株)産直新聞社 代表取締役 毛賀澤 明宏

18:00 全体会終了

※交流会の会場は、「県民文化会館」より徒歩約2分の「ホテルアバローム紀の国」2階「鳳凰の間」です。
お荷物はすべてお持ちの上、各自で会場にご移動下さい。

19:00 全体交流会 会場:「ホテルアバローム紀の国」2階「鳳凰の間」

～和歌山県下の旬の食材によるご当地メニューの飲食・交流会(着席バイキングスタイル)～

20:30 中締め

21:00 閉会

※②スマイルホテル和歌山(「ホテルアバローム紀の国」から徒歩約10分)、③コンフォートホテル和歌山
(JR和歌山駅前)にご宿泊をお申込み頂いた方については、交流会終了後に送迎バスをご利用下さい。

平成30年11月2日(金)

直売所現地視察

全4コース。各コース定員40名(最少催行人員25名)。

いずれも「県民文化会館前」「和歌山県JAビル前」(JR和歌山駅近く)の2か所を経由して出発します。現地視察には各直売施設での昼食も含まれます。

- Aコース(紀北①方面)
- Bコース(紀北②方面)
- Cコース(紀中方面)
- Dコース(紀南方面)

(連絡事項)

※視察順路・昼食内容・解散時間はコース毎に異なりますので、よくご確認下さい。

※視察に参加される方は必ず視察バスにご乗車下さい。安全確保のため、車での併走はご遠慮下さい。

※天候や交通渋滞等により解散時刻の変更が予想されます。お帰り時間は余裕を持ってご予約下さい。

直売所現地視察先

Aコース（紀北①方面）

- 出発予定：県民文化会館正面（8:20 発）和歌山県 J A ビル前（8:40 発）
 - ・ J A 紀の里「めっけもん広場」（紀の川市）
 - ・ 道の駅くしがきの里（かつらぎ町）
 - ・ J A 紀北かわかみ「やっちょん広場」（橋本市） ※昼食（地産地消定食）
 - ・ 産直市場「よってって」道の駅 柿の郷くどやま店（九度山町）
- 解散予定： J R 和歌山駅（16:00 着）、県民文化会館（16:20 着）

Bコース（紀北②方面）

- 出発予定：和歌山県 J A ビル前（8:20 発）県民文化会館正面（8:40 発）
 - ・ J A わかやま「愛菜てまりっこ」かせい店（和歌山市）
 - ・ J A 紀の里「めっけもん広場」（紀の川市）
 - ・ 産直市場「よってって」貴志川店（紀の川市） ※昼食（ランチバイキング）
 - ・ J A ながみね「とれたて広場」（海南市）
 - ・ 中野 B C 【梅酒など酒造会社】（海南市）
- 解散予定： J R 海南駅（15:40 着）、 J R 和歌山駅（16:15 着）、県民文化会館（16:30 着）

Cコース（紀中方面）

- 出発予定：和歌山県 J A ビル前（8:30 発）県民文化会館正面（8:50 発）
 - ・ 産直市場「よってって」狐島店（和歌山市）
 - ・ ファーマーズマーケットどんどん広場（有田川町）
 - ・ J A ありだ「ファーマーズマーケットありだっこ」（有田川町）
 - ・ 道の駅 SanPin 中津（日高川町） ※昼食（中津荘にて和定食）
 - ・ 中野 B C 【梅酒など酒造会社】（海南市）
- 解散予定： J R 海南駅（15:50 着）、 J R 和歌山駅（16:25 着）、県民文化会館（16:40 着）

Dコース（紀南方面）

- 出発予定：県民文化会館正面（8:00 発）、和歌山県 J A ビル前（8:20 発）
 - ・ 産直市場「よってって」いなり本店（田辺市）
 - ・ J A 紀南「紀菜柑^{きさいかん}」（田辺市）
 - ・ 秋津野直売所「きてら」（田辺市）
 - ・ 秋津野ガルテン（田辺市） ※昼食（みかん畑ランチバイキング）
 - ・ 中田食品【梅干など加工会社】（田辺市）
- 解散予定： J R 紀伊田辺駅（15:00 着）、 J R 和歌山駅（16:30 着）、県民文化会館（16:50 着）

第17回 全国農林水産物直売サミット **講師の紹介**

(すべて敬称略)

■和歌山大学 食農総合研究所 特任教授 **辻 和良**(和歌山市)
和歌山県農業試験場などの勤務を経て現職。都市農村共生を専門に、直売所に関する調査研究も進める。

■JA紀の里 ファーマーズマーケットめっけもん広場 店長 **山田 秀樹**(紀の川市)
「めっけもん広場」開設当初より店に勤務し、30年4月より店長に就任。お客様や生産者との対話に力を入れる。

■(株)プラス 取締役 会長 **野田 忠**(田辺市)
小売店経営を経て、平成14年に産直市場「よってって」を開業。現在は和歌山・大阪・奈良で23店舗を経営。

■(株)秋津野 副社長 (株)きてら 副社長 **木村 則夫**(田辺市)
柑橘・梅の生産者であり、秋津野の地域づくり、直売所「きてら」、秋津野ガルテンなどの活動を率いる中心者。

■(一社)みなかみ町農業公社 参与 **西坂 文秀**(群馬県みなかみ町)
直売所「さいさいきて屋」(愛媛県)の実績を踏まえ、現在は群馬県みなかみ町など全国の直売所へ助言を行う。

■産直めぐり 店長 **叶野 由佳**(山形県鶴岡市)
生産者が店の運営に積極的に関わる果樹産地の直売所。勤続20年を超す農家の信頼が厚いベテラン店長。

■JAしまね 販売戦略室 室長 **須山 一**(島根県出雲市)
奥出雲の小規模農家約3千名による産直協議会をまとめあげ、地産地消と地産都商の販売体制を確立させた。

■おおむら夢ファームシュシュ 代表取締役 **山口 成美**(長崎県大村市)
生産者有志が立ち上げた直売所。生産・加工・飲食・交流と6次産業化の拠点施設に。農家民宿も開業する。

■あんずの里市利用組合 事務長 **花田 砂恵子**(福岡県福津市)
地域の女性農家を中心に平成8年に立ち上げた直売所。学校給食への食材納入は20年以上の実績がある。

■(株)産直新聞社 代表 **毛賀 澤 明宏**(長野県駒ヶ根市)
全国の直売所を結ぶ「産直コペル」(隔月)、「さんちよく新聞」(長野)を発行。食と農による地域づくりを支援する。

■全国農産物直売ネットワーク代表(東京大学名誉教授) **今村 奈良臣**
「農業の6次産業化」の提唱者。その理念に基づき、全国の農山漁村で農業塾、村づくり塾などを40年にわたり指導する。現在は、(一財)都市農山漁村交流活性化機構 理事長、(一社)農山漁村文化協会 会長を務める。



JA紀南「紀菜柑(きさいかん)」(田辺市)



秋津野ガルテン(田辺市)



JAありだ「ありだっこ」(有田川町)

第17回 全国農林水産物直売サミット **現地視察・直売所の紹介**

Aコース（紀北①方面）

○JA紀の里「ファーマーズマーケットめっけもん広場」（紀の川市）

桃・柿・みかんの産地にある出荷者約1,500名、売場面積・約920㎡、客単価4,000円、年商29億を誇る国内最大級の直売所。消費者との交流、出荷者の行事参加、営農支援など独自の振興策も進める。

○道の駅くしがきの里（かつらぎ町）

関西地方の鏡餅に飾る「くし柿」の生産地に平成29年度に開設された道の駅。秋のつるし柿の景観も人気。

○JA紀北かわかみ「やっちょん広場」（橋本市）

柿・桃の一大産地にある直売所。多品目野菜の生産も進める。ゆるキャラの「かきたん」も大人気。

○産直市場「よってって」（本社・田辺市）

「よってって」は㈱プラスが運営する直売所。県内のみならず奈良・大阪へも出店し、23店舗の売上総額は100億にのぼる。同社は平成28年度に「プラス農業育成財団」を設置し、農業者の育成にも力を入れる。

・道の駅 柿の郷くどやま店（九度山町）

「道の駅柿の郷・くどやま店」は高野山の玄関口にある九度山町に26年度に設置された道の駅に入る店。

Bコース（紀北②方面）

○JAわかやま「愛菜てまりっこ」かせい店（和歌山市）

JAわかやまが和歌山市内に5店舗を運営。店舗間の商品配送や学校給食への食材納品も進めている。

○JA紀の里「ファーマーズマーケットめっけもん広場」（紀の川市）

桃・柿・みかんの産地にある出荷者約1,500名、売場面積・約920㎡、客単価4,000円、年商29億を誇る国内最大級の直売所。消費者との交流、出荷者の行事参加、営農支援など独自の振興策も進める。

○産直市場「よってって」貴志川店（紀の川市）

貴志川店は平成22年に開店。野菜や花、海産物が人気。バイキングレストラン「八十八家」も併設する。

○JANAがみね「とれたて広場」（海南市）

みかん・柿の産地にあるJAの直売所。チャレンジ品目を設け、会員の野菜栽培の支援も進める。

○中野BC【梅酒など酒造会社】（海南市）

地場産原料にこだわった梅酒、日本酒等の酒造会社。製造現場の見学、試飲もできる工場見学が人気。



JA紀北かわかみ「やっちょん広場」（橋本市）



JANAがみね「とれたて広場」（海南市）

Cコース（紀中方面）

○産直市場「よってって」^{きつねじま}狐島店（和歌山市）

平成 30 年 7 月に和歌山市内に開設された「よってって」グループの最も新しい店。魚の産直も人気。

○ファーマーズマーケット「どんどん広場」（有田川町）

地元の農事組合法人吉備農産物販売を中心に、地域ぐるみで運営する店。有田みかんの大産地にある。

○JA ありだ「ファーマーズマーケットありだっこ」（有田川町）

生産量日本一の有田みかんの大産地にある JA 直営店。近年は野菜の生産振興にも力を入れる。

○道の駅 SanPin 中津（日高川町）・きのくに中津荘 ※昼食（和定食）

県内で最も古い時期に開業した常設直売所。店の運営主体が変わっても地域ぐるみで直売所を支えている。

○中野BC【梅酒など酒造会社】（海南市）

地場産原料にこだわった梅酒、日本酒等の酒造会社。製造現場の見学、試飲もできる工場見学が人気。

Dコース（紀南方面）

○産直市場「よってって」いなり本店（田辺市）

平成 14 年に開業した「よってって」の第 1 号店。2 階にはカフェや梅加工品の専用売り場も設置されている。

○JA 紀南「紀菜柑」^{きさいかん}（田辺市）

梅・柑橘の産地にあり、野菜・花卉・加工品が豊富な直売所。梅・はっさく等のドライフルーツも人気。

○秋津野直売所「きてら」（田辺市）

秋津野地区の地域づくり活動から平成 11 年に開設された直売所。ジュースやジャムの加工拠点でもある。

○秋津野ガルテン（田辺市）※昼食（みかん畑ランチバイキング）

旧校舎を活用した宿泊・飲食・交流施設。10 年目を迎え、オフィス誘致・宿泊棟の新設などの挑戦を続ける。

○中田食品【梅干など加工会社】（田辺市）

明治 30 年創業の全国展開する梅干・梅加工品の食品会社。広大な敷地の本社で工場見学も受け入れる。



ファーマーズマーケット「どんどん広場」(有田川町)



道の駅 SanPin 中津（日高川町）

第 17 回全国農林水産物直売サミット ご参加にあたって(事務連絡)

1 参加申込方法

「参加申込書」(様式 1)に必要事項をご記入の上、(株)農協観光 N ツアー・コールセンターまでメール添付または F A X 送信でお申込み下さい。「参加申込書」は、(一財)都市農山漁村交流活性化機構のホームページ上からダウンロードが可能です。全国からどなたでもご参加できます。

参加申込締切：平成 30 年 10 月 12 日 (金)

※各定員に達し次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。

* 参加団体活動紹介書 (様式 2) の提出のお願い

直売活動実践者の皆様は、1 運営団体につき A 4 判×1 枚の「参加団体活動紹介書」(様式 2) を必ずご提出下さい (F A X またはメール送信で可)。提出頂いた「活動紹介書」は事務局で整理の上、当日資料として配布し、参加者間の情報交換やネットワークづくりに役立てて頂きます (公表したくない項目については無回答も可)。

「参加団体活動紹介書」は「参加申込書」とともに必ずご提出下さい。

2 受付確認・請求書の送付について

事務局において「参加申込書」を受理・確認の上、順次、お申込者様に「受付確認」のメールまたは F A X を返信します。「請求書」は参加申込締切後に発送しますが、複数名で参加される場合は代表者様に一括して送付します。参加費等は全て事前に指定口座にお振り込み下さい (振込手数料はお客様負担となります)。

3 参加費等のお支払い方法

請求書に基づき、合計金額を指定口座にお振り込み下さい。参加経費の内訳は次の通りです。

【参加経費】全行程参加 17,000 円 (全体会・分科会・交流会・現地視察) ※宿泊費は別途かかります

【参加経費の内訳】

①参加費 4,000 円 ※途中参加・途中退席の場合でも、参加費は全額を徴収させていただきます

全国農産物直売ネットワークの会員は、①参加費 3,000 円で承ります。

<割引適用範囲> A 直売所会員・・会員の全ての構成員 B 個人会員・・会員本人のみ
C 法人会員・・・会員の全ての構成員 D 賛助会員・・会員組織 1 名のみ

②交流会費 6,000 円 (お一人様)

会場：ホテルアバローム紀の国 (19:00~21:00) ※着席・バイキング型の地産地消の夕食会
参加定員：200 名

③現地視察費 7,000 円 (各コース参加定員 40 名・先着順。最少催行人員 25 名)

※現地視察費には、昼食代、バス借上代、有料道路代、保険料、添乗員代などが含まれます。

4 分科会について

下記①~⑥より参加を希望される分科会を選択して下さい。

- 第①分科会 「中・大規模直売所の進むべき方向」
- 第②分科会 「地域農業を支える、中山間地直売所の役割」
- 第③分科会 「直売所出荷に向けた多品目栽培と商品づくり」
- 第④分科会 「直売所間商品交流の進め方」
- 第⑤分科会 「直売所から地元給食に食材を納める」
- 第⑥分科会 「特別講座・農産物直売所は 6 次産業化のトップランナー」

5 現地視察の解散予定時刻

- Aコース：JR和歌山駅(16:00) → 県民文化会館(16:20)
Bコース：JR海南駅(15:40) → JR和歌山駅(16:15) → 県民文化会館(16:30)
Cコース：JR海南駅(15:50) → JR和歌山駅(16:25) → 県民文化会館(16:40)
Dコース：JR紀伊田辺駅(15:00) → JR和歌山駅(16:30) → 県民文化会館(16:50)

※各コースともに参加定員に限りがありますので、必ず第2希望までご記入ください。

※解散駅・時刻・昼食内容は各コースにより異なります。また、当日の状況により解散時間が遅れる場合がありますので、お帰りは余裕をもった時間での交通手配をお願いします。

※各視察先に駐車場が少ないため、マイクロバス・自家用車等による併走での参加はご遠慮願います。

※途中離団については事前にお申し出いただければ可能ですが、参加代金の割引等はございません。

6 宿泊料金について

平成30年11月1日(木)のご宿泊は下記価格でお泊まり頂けます(1泊朝食付・税サービス料込)。
前後泊を希望される方はご相談下さい。

①ホテルアバローム紀の国 〒640-8262 和歌山市湊通丁北2-1-2 TEL073-436-1200

- ご宿泊料金
- | | |
|------------|----------------------------|
| A シングル利用 | お一人様9,800円(1泊朝食・税・サービス料金含) |
| B ツイン利用 | お一人様9,200円(同上) |
| C トリプル以上利用 | お一人様8,200円(同上) |

②スマイルホテル和歌山 〒640-8232 和歌山市南汀丁18 TEL073-432-0109

- ご宿泊料金 シングルルーム お一人様9,720円(1泊朝食・税・サービス料金含)

③コンフォートホテル和歌山 〒640-8342 和歌山市友田町5-34-1 TEL073-426-8911

- ご宿泊料金 A シングル利用 お一人様7,000円(1泊朝食サービス・税・サービス料金含)

※いずれのホテルも禁煙・喫煙についてはご希望に添えない場合もありますので、予めご了承下さい。

7 申込内容の変更・キャンセルについて

申込内容の変更・キャンセルは、「参加申込書」を上書き訂正の上(二重線などで判るように)、修正したものをメールまたはFAXで再送信して下さい。お電話による申込内容の変更はご遠慮下さい。ご変更に伴うお取消料は下記の通りです。お取消に関するご返金またはご請求はサミット終了後に対応させて頂きます。

(ご注意) お申し込み内容の変更に伴うキャンセル料のお取扱い

【宿泊費について】

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| ・宿泊日の21日前までの取消→無料 | ・宿泊日の20日前から8日前までの取消 →代金の20% |
| ・宿泊日の7日前から2日前までの取消 →代金の30% | ・宿泊日前日の取消→代金の40% |
| ・宿泊日当日の取消→代金の50% | ・宿泊開始後の解除またはご連絡なし不泊→代金の100% |

【参加費/交流会費/現地視察費について】

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| ・平成30年10月29日午前迄→無料 | ・平成30年10月29日午後以降→代金の100% |
| ・連絡なし不参加→代金の100% | |

今回ご記載頂いた個人情報については、お客様との連絡、お申込手続きなどの範囲内で使用致します。

【全国農林水産物直売サミット・受付事務局】※参加申込・お支払いなどはこちらへ

(株)農協観光 Nツアーコールセンター 平日9:00~19:00 土日祝祭日10:00~18:00
電話 0570-040-000 FAX 0986-21-4175 Mail:callcenter01@ntour.co.jp

【全国農林水産物直売サミット・全国事務局】

(一財)都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう)担当:森岡・吉岡・上野
電話 03-4335-1984 FAX03-5256-5211 Mail:chokubai@kouryu.or.jp

第17回 全国農林水産物直売サミット **会場のご案内**

会場 和歌山県民文化会館・小ホール

〒640-8269 和歌山市小松原通一丁目1番地 TEL073-436-1331



宿泊先③「コンフォートホテル和歌山」はJR和歌山駅前になります。

和歌山県民文化会館までの交通のご案内

○JR「和歌山駅」より

- ・和歌山バス(2番のりば)約10分 「県庁前」バス停下車(バス停より徒歩約4分) ※毎時5~6本
- ・タクシー乗車・約10分

○南海電鉄「和歌山市駅」より

- ・和歌山バス(9・10番のりば)約10分 「県庁前」バス停下車(バス停より徒歩約4分)
- ・タクシー乗車・約5分

○阪和自動車道「和歌山 I・C」より 車で約15分・約5km

★県民文化会館立体駐車場の利用について ※詳しくは同会館公式サイトをご確認ください。

40分・100円(7:00~22:00) 60分・100円(22:00~7:00)、24時間最大料金 800円

※マイクロバスなどのご利用の場合は、参加申込用紙にご記入の上、お知らせ下さい。

第17回 全国農林水産物直売サミット 全国事務局

一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町4番地 神田金子ビル5F

電話 03-4335-1984(土日祝祭日はのぞく) FAX 03-5256-5211

URL:<http://www.kouryu.or.jp> E-mail: chokubai@kouryu.or.jp 東京都知事登録旅行業第2-5925号